

ほけんだより 8月



暑い日が続いていますが、子どもたちは暑さに負けずに元気いっぱい過ごしています。8月に入り、ヒトメタニューモウイルス感染症にかかる園児が増えてきています。現在、高槻市で、新型コロナウイルス感染症が増加しており、季節性インフルエンザも発生しています。咳や鼻水などの風邪症状が出始めていれば、無理せず自宅で様子を見てあげてください。

ヒトメタニューモウイルスについて

ヒトメタニューモウイルスは、RSウイルスと同じ仲間のウイルスで、喘息を伴う気管支炎や肺炎などの呼吸器症状を引き起こします。このウイルスは、数日続く発熱、長引く咳が特徴で、RSウイルスの症状に似ています。排出されるウイルス量は発熱1～4日目に多く、排出は1～2週間続くと言われます。潜伏期間4～6日。

ヒトメタニューモウイルスの主な症状

- **咳** (多くの場合、1週間程度続きます)
- **熱** (多くの場合、4～5日程度続きます)
- **鼻水**

悪化すると、以下のような症状が出ることもあります。

- **ゼイゼイ(ヒューヒュー)という呼吸**
(喘息様気管支炎、細気管支炎)
- **呼吸困難** など



ヒトメタニューモウイルスの診断

1度感染しても、免疫が獲得できず、何度か感染を繰り返すことがあります。ヒトメタニューモウイルスは迅速診断キット(鼻咽頭を細い綿棒でぬぐった後、5～15分程で結果が出る検査)で鑑別できます。しかし他の感染症と症状が似ていることもあり、医療機関で鑑別が難しい場合もあるようです。保育園で流行していることを医療機関に伝え、医師の判断を受けてください。



ご家庭で気を付けること

- ・ワクチンや特効薬はありません。回復するまで、ゆっくり休みましょう。
- ・夏の暑い時期や、咳がひどく飲食が摂りにくい状況では脱水症状になりやすいため、食事や水分は少しずつこまめに与えましょう。
- ・きょうだいからの感染も多いので、手洗いうがいをし、家庭内の子どもの症状を観察してください。
- ・中耳炎を合併することがあるので、注意が必要です。
- ・咳やくしゃみ、鼻水などで感染するため、タオルの共用は避け、飛沫感染対策をお願いします。



登園のめやす・・・咳などが安定した後、全身状態がよいこと